

約90人が最新の 測量技術学ぶ

日測協、名古屋市内で
公共測量講習会

日本測量協会（日測協、清水英範会長）は28日、国や自治体の実務担当者を対象とした公共測量講習会を名古屋市中村区のウイंकあいちで開いた。写真。約90人が参加し、最新の測量技術や測量成果の品質確保などについて知識を深めた。

公共測量講習会は、公共工事の品質確保の促進に関する法律（公共工事品質確保法の施行を機に実施してい

る。当日は国土地理院中部地方測量部の山田美隆部長が「自然災害リスクでわかる防災地理情報の整理・提供」と題し、土地の自然災害リスクが確認できる地形分類データを中心とした防

災地理情報について講演。中部地方測量部測量課の星野賢史調査専門職は、公共測量を正確、効率的に行うために必要な各種手続きや留意点を説明した。

日測協中部支部技術センターの藤田晃輔測地検査担当は「公共測量における基準点測量の実際」、日測協測量技術センターの渡辺信之測量監理担当は「公共測量における数値地形図作成と新技術の活用」、日測協中部支部の村上和彦技術センター長は「公共測量成果の品質確保について」をテーマに講演した。

